

演題 『**審美歯科修復治療の  
最前線**』

(MI 修復治療とデジタルデンティストリー)



**Dr. 大河 雅之**

代官山アドレス歯科クリニック院長

profile

〔略歴〕  
1962年 岩手県出身  
1987年 東北歯科大学卒業(現:奥羽大学歯学部)  
2001年 代官山アドレス歯科クリニック開院  
奥羽大学歯学部同窓会本部学術部長  
日本臨床歯科医学会(SJCD)東京支部副会長  
EAED(ヨーロッパ審美歯科学会)会員  
AMED(米国マイクロスコブ歯科学会前理事)  
日本歯科審美学会認定医  
(抄録)

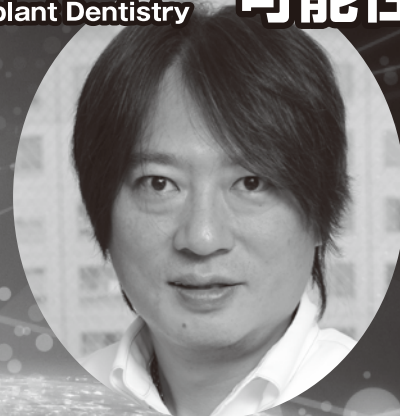
現在、審美修復治療は**バイオミメティック**(生体模倣)アプローチという考え方が浸透しただけでエナメル質と歯の構造を保存する接着修復が世界的に潮流となってきた。接着技術の進化とインプラントの登場の恩恵によりクラウンやブリッジ修復における従来型の保持形態、抵抗形態付与のためのアグレッシブな支台歯形成は、今やそれらの再治療時にみに用いられるべきである。つまり現段階では歯の硬組織と歯髄の再生が困難である以上、治療侵襲は必要最小限にとどめ、残存する歯の構造と組織を温存し天然歯固有の優位性を最大限に生かすことにより生物学的、構造力学的、機能的、審美的特性を天然歯に近似させ再現させることが修復治療の目的となる。これこそがMI修復治療の正体なのである。

本講演では①MIを考慮した治療計画立案とボンデッドセラミックレステーションの中長期的予後についての考察。②ボンデッドセラミックレステーションにおけるマイクロスコブの有効性。③最新のデジタルテクノロジーを応用したMIフルマウスリハビリテーション。④デジタルデンティストリーの診査、診断と治療方針決定への機器としての発展。など審美修復治療の最前線について臨床症例を用いてお話ししたい。

演題 『**デジタル  
デンティストリーの  
可能性**』

Possibility of Digital Implant Dentistry

可能性



**Dr. 千葉 豊和**

札幌市・千葉歯科クリニック院長

profile

〔略歴〕  
1989年 東北歯科大学 卒業  
1993年 奥羽大学歯学研究所 卒業  
1993年 奥羽大学歯科補綴学第2講座 助手  
1994年 東京都渋谷区 原宿デンタルオフィス 勤務  
1997年 札幌市中央区 千葉歯科クリニック 開業  
現在 日本補綴歯科学会 専門医  
スタディグループSJCDインターナショナル 会員  
北海道SJCD 顧問  
岩手医科大学歯学部 歯科補綴・インプラント学講座 非常勤講師  
北海道医療大学歯学部 クラウンブリッジインプラント学講座 非常勤講師  
(抄録)

ここ数年来、Intra oral scannerが各社より発売され市場を賑わしている。しかしながらそれぞれ優位性を挙げ特徴を謳っているものの、我々歯科医の立場としては現時点ではどこまでが実際の臨床において活用可能であるかの判断に戸惑いながらの手探り状態であることも事実である。これまでの活用方法といえはCERECの1Dayトリートメントに代表される様に天然歯の支台歯もしくは窩洞のスキャンを行い、ミリングマシンで修復物製作を行うというのが主な使用法であった。これに加えて今日では、口腔内スキャンデータとCBCTのDICOMデータをプランニングソフト上でマッチングしてインプラントの埋入ポジションのプランニング、それに伴うサージカルガイドのプランニング、作製、場合によっては上部構造までの作製を行う方法が臨床応用されてきている。更に、インプラント上部構造の印象採得を行う場合にはスキャンアパルトメントのスキャンを行い、口腔内の状態をデジタルデータに置き換えることにより上部構造のプランニング、作製を行う方法が応用されてきている。これはフィニッシュラインを正確に読み取らなければならない天然歯のスキャンと比較して、スキャンボディの位置関係さえ正確に再現されていればインプラントとの接続が適切に再現できることから有効性が高い手法となる。また、最近では術前診査などに口腔内スキャンデータが応用され始めた。特に顔貌写真と口腔内スキャンデータのマッチングを行いデジタルワックスアップにて最終上部構造と顔貌とのシミュレーションを行うことは、アナログでの診査では不可能であったことから今後活用範囲が広がっていくであろう。今回はいずれルーティンワークになっていくであろうIntra oral scannerの活用方法に対して現状として私自身がどこまで活用しているかについて考察を加え報告したいと思う。

2018  
**9.9**日

~多くの研鑽を積み  
世界的に活躍中の  
同窓生による夢の共演!!~

時間 10:00~16:30  
午前10:00~千葉 先生  
午後13:00~大河 先生

会場 日本薬学会 長井記念館  
渋谷区渋谷2-12-15  
Tel.03-3406-3326

主催 奥羽大学歯学部同窓会

会費 同窓会会員事前申込.....8,000円  
一般歯科医師事前申込..10,000円  
【事前申込期限:8月31日(金)】  
9/1以降 同窓会員.....10,000円  
一般歯科医師.....12,000円  
技工士・衛生士・助手.....5,000円

37期卒~41期卒の  
同窓生・臨床研修医・学生 **無料!**

振込先:みずほ銀行郡山支店  
普通口座 8030627  
有限会社オーudent 卒後研修会事務局

申込方法

申込書にご記入の上FAXでお申込後下記口座までお振込み下さい。ご入金確認後、登録完了とさせていただきます。振込明細書を持って領収証とさせていただきます。講演会終了後、懇親会を予定しております。懇親会ご希望の方は合わせてお申込み下さい。  
(懇親会費 6,000円)

〒963-8611 郡山市富田町字三角堂31-1  
奥羽大学歯学部同窓会事務局  
TEL024-939-0530 FAX024-935-7420

託児所の補助金制度がございますので、お気軽にご利用し卒後研修セミナーにご参加ください。  
託児所を利用される場合には事前に事務局(TEL 024-939-0530)へお問い合わせください。

予告 2019年2月24日(日) 講師:北島 一先生 場所:日本薬学会長井記念館(東京)

キリトリ

奥羽大学歯学部同窓会創立40周年記念特別講演会第三弾 FAX024-935-7420

(フリガナ) 氏名	<input type="checkbox"/> 同窓会会員 ( 期卒) <input type="checkbox"/> 奥羽大学大学院生・研修医・病院助手 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 技工士・衛生士・助手 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 懇親会に参加する	
住所	〒 _____ 医院名( _____ )	
TEL	FAX	

※参加される先生は、日歯生涯研修カードをお持ち下さい。